

平成25年度 三条市音楽部 活動報告

部長 長谷川 薫

1 研究主題

新学習指導要領に基づく、感性・表現力を身に付ける楽しい音楽授業のあり方

2 研究の概要

新学習指導要領に基づく、「音楽づくり」の授業のあり方を学ぶ。

3 研究の実際

(1) 「音楽づくり」の活動・指導の充実の研修

<第1回目の研修：6月21日（金）>

講師に新潟大学教育学部の伊野義博様をお迎えし、『音楽づくり』の活動・指導の充実」と題して、一ノ木戸小学校音楽室を会場に研修を行った。

トーンチャイム・打楽器などたくさんの楽器を実際に使って、音楽づくりの活動を体験した。参加者全員で音楽づくりを楽しむことができた。

指導計画の上で音楽づくりの活動の位置付けと音楽づくりの授業のポイントを学んだ。



(2) 中越音楽教育研究大会 授業参観と協議会参加

<第2回目の研修：10月29日（火）>

研究主題「思いをもって表現する子ども」

～感動と創造のある音楽科カリキュラムのあり方を考えて～

授業者 保内小学校 三村 陽子先生

学年・单元名 4年 「せんりつづくりにちょうせん～既習曲の形式を使って～」

変化のある旋律を一人一人がつくるために、「リズムを変える」、「音を変える」方法を学び、その方法を使って、旋律を完成させる授業であった。

協議会では单元構成や今までの指導過程を中心に協議された。



4 成果と課題

(1) 成果

- ・ 第1回目の研修では、すぐに授業に取り入れられる活動とポイントを数多く研修することができた。音楽づくりの授業についての意欲が高まった。
- ・ 中越音楽教育研究大会の三村先生の授業は、一人一人が自分の思いをもち、夢中になって旋律づくりに取り組む姿が見られた。ねらいに迫るために、本時に至るまでの单元構成や指導過程が工夫されていて、とても勉強になった。

(2) 課題

- ・ 今年度は音楽づくりと鑑賞のあり方の2点に研修の要望が集中した。今後も会員の要望に答えられるような研修を計画していけるとよい。